

# 指定ごみ袋の 値上げをどう考える

## ごみ一袋に

### 処理料百円

日常の暮らしのなかで出る燃えるごみは、週二回各地区の集積場所から廿枝にある香南清掃組合の焼却場に運ばれます。

この収集、運搬、処理という一連の過程に必要な費用は、昭和六十二年で一億三千三百万円。平成元年度には一億三千九百万円になると予想されています。これを一袋当たり換算すると約百円。

今までは処理経費の五割程度、年間約六百六十万円を市民の皆さんにごみ袋代の形で直接負担していただいていたことになりました。

今回の値上げは、この負担を一五〜一七割に引き上げることによって、これまで処理費に充てていた財源をその他の皆さんの要望する事業のために使おうというものです。

市指定のごみ袋代が四月一日から十円値上げされ、二十円になりました。ごみ袋は日々の暮らしに関わりが深いものであるだけに賛否両論があるところですが、これによって年間千円から千五百円の負担増となるわけですが、今回の値上げはどのような背景によるものなのでしょうか。



ちなみに県下のほかの八市の現状は、指定ごみ袋制をとっているのが五市で、ごみ袋代は三十円から五十円まで。高知市など三市は袋を指定していません。

## 指定ごみ袋は

### なぜ必要か

南国市の家庭から出たごみは、前述したように香南清掃組合の焼却場で処理されるわけですが、この焼却場では南国市のほかに六町村から出るごみも処理されています。処理費用は七市町村が負担していますが、それぞれが同じ規格で色の違ったごみ袋を使用することによってどの市町村からどれだけごみが出てくるかを明確にし、負担金決定の要素としています。

また、同規格の袋を使うことによって、ごみステーション周辺の環境美化、収集、運搬作業の効率化、焼却時に発生する有毒ガスの減少等々の効果もあります。

コンポストなどを利用したごみの自己処理や水気を切る等によってごみを減らすようにしている方もいます。今後も指定ごみ袋制にご理解とご協力をお願いします。

## 香南中屋内運動場と

### 稲吉共同利用施設が完成



元吉恵子さんが生の声楽を披露

香南中屋内運動場と稲吉共同利用施設がこのほど完成し、落成式典が行われました。

香南中屋内運動場増改築工事は、簡易保険郵便年金積立金選元融資を受けて昨年八月から進められていたもので、三月二十五日に竣工。鉄骨鉄筋コンクリート造り平屋建て、建築面積八三〇平方メートル、教室、シャワー室、更衣室などがあり、工事費は一億二千五百三十一万円です。

として世界の総舞台で活躍している元吉恵子さんがピアノストの田中いづみさんとともに来校、演奏会を行いました。会場となった屋内運動場には同校生徒をはじめ四百人あまりが詰めかけ、生の声楽をたつぷり鑑賞していました。元吉さんは「郷土、特に母校で歌うのはすごくうれし

いことです。南国市の音楽教育の振興のために、できれば市内の学校を歌って回り、子供たちに生の声に接してもらおう機会を作りたい」と語っていました。稲吉共同利用施設新築工事は、国庫補助事業の教育施設等騒音防止対策事業により昨年十月から進められていたもので、三月二十五日に竣工。鉄筋コンクリート造り二階建て、述べ床面積三二・五四平方メートル、学習室、休養室、集会室、保育室などがあり、工事費は六千六百五十四万円です。

四月九日には、関係者ら約七十人が出席して落成式を行い、完成を祝いました。